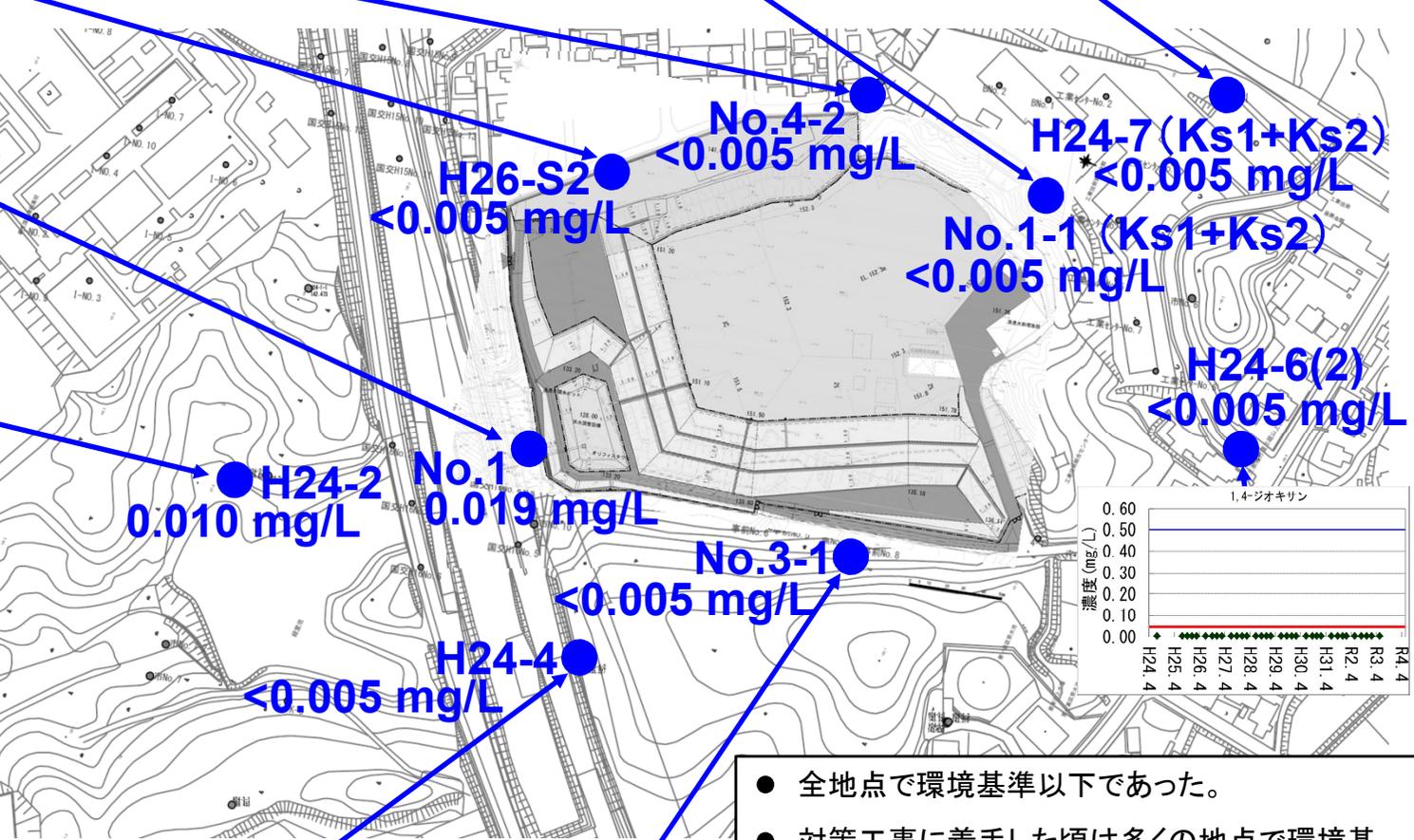
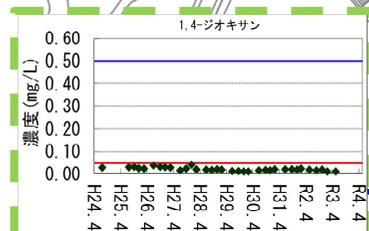
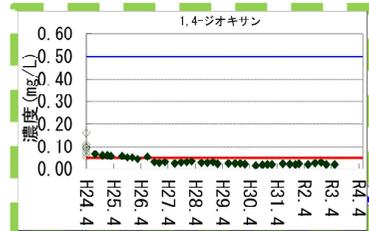
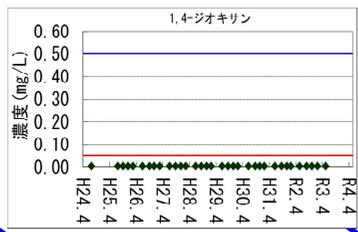
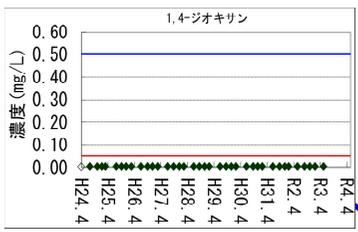
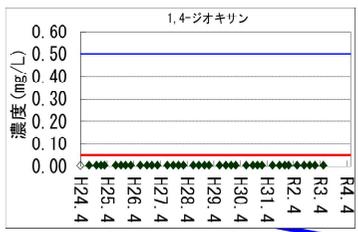
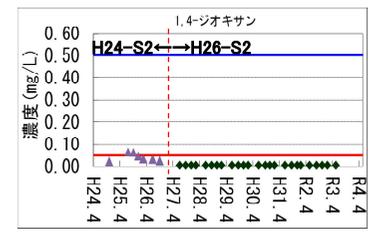
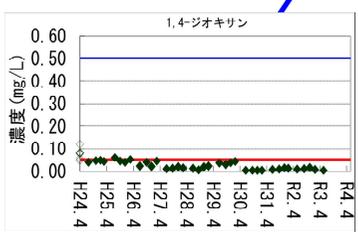
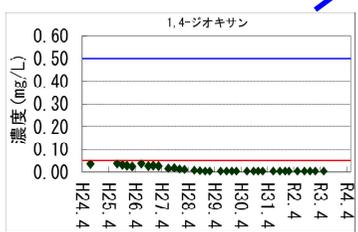


1,4-ジオキサン

● Ks2



環境基準
0.05 mg/L



● 全地点で環境基準以下であった。
 ● 対策工事に着手した頃は多くの地点で環境基準を超過していたが、現在までに低下してきている。

家庭系ごみの影響に関する調査について

令和3年度

調査地点		C-7				C-8				C-9				地下水 環境基準
採水年月日		R3. 5. 24			平均値	R3. 5. 24			平均値	R3. 5. 24			平均値	
現場 測定 項目	気温	°C	24.0			21.0				21.0				-
	水温	°C	17.6			15.1				15.8				-
	採水深度 (GLより)	m	4.00			6.45				3.39				-
分 析 項 目	pH	at20°C	6.2		6.2	5.1			5.1	6.5			6.5	-
	BOD	mg/L	0.7		0.7	<0.5			<0.5	0.7			0.7	-
	COD	mg/L	4.5		4.5	1.4			1.4	4.6			4.6	-
	SS	mg/L	180		180	5.9			5.9	32			32	-
	EC	mS/m	69		69	23			23	49			49	-
	カドミウム	mg/L	<0.0003		<0.0003	<0.0003			<0.0003	<0.0003			<0.0003	0.003以下
	砒素	mg/L	<0.005		<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			<0.005	0.01以下
	ふっ素	mg/L	<0.08		<0.08	<0.08			<0.08	0.10			0.10	0.8以下
	ほう素	mg/L	0.3		0.3	<0.1			<0.1	0.3			0.3	1以下
	鉛	mg/L	0.006		0.006	<0.005			<0.005	<0.005			<0.005	0.01以下
	総水銀	mg/L	<0.0005		<0.0005	<0.0005			<0.0005	<0.0005			<0.0005	0.0005以下
	PCB	mg/L	不検出		不検出	不検出			不検出	不検出			不検出	不検出
	トリクロロエチレン	mg/L	<0.001		<0.001	<0.001			<0.001	<0.001			<0.001	0.01以下
	テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0005		<0.0005	<0.0005			<0.0005	<0.0005			<0.0005	0.01以下
	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002		<0.002	<0.002			<0.002	<0.002			<0.002	0.1以下
	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004		<0.004	<0.004			<0.004	<0.004			<0.004	0.04以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002		<0.002	<0.002			<0.002	<0.002			<0.002	-
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.002		<0.002	<0.002			<0.002	<0.002			<0.002	-
	ベンゼン	mg/L	<0.001		<0.001	<0.001			<0.001	<0.001			<0.001	0.01以下
	クロロエチレン	mg/L	<0.0002		<0.0002	<0.0002			<0.0002	<0.0002			<0.0002	0.002以下
	1,4-ジメチル	mg/L	<0.005		<0.005	<0.005			<0.005	<0.005			<0.005	0.05以下
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.089		0.089	0.066			0.066	-			-	1以下	
鉄	mg/L	5.4		5.4	0.41			0.41	26			26	-	
マンガン	mg/L	2.7		2.7	0.20			0.20	2.7			2.7	-	
溶解性鉄	mg/L	0.87		0.87	<0.01			<0.01	17			17	-	
溶解性マンガン	mg/L	2.3		2.3	0.19			0.19	2.1			2.1	-	
全窒素	mg/L	0.60		0.60	0.63			0.63	1.6			1.6	-	
全りん	mg/L	<0.05		<0.05	<0.05			<0.05	<0.05			<0.05	-	

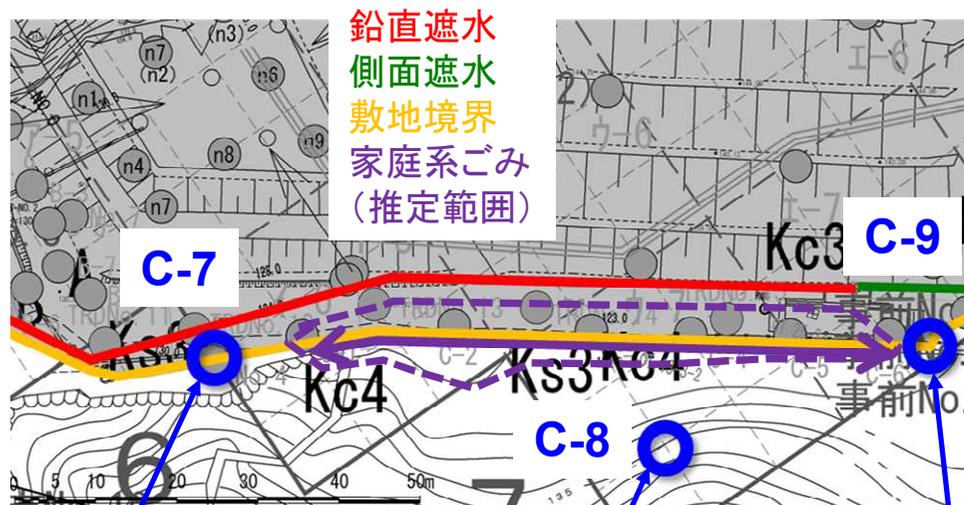
PCBの地下水環境基準は「検出されないこと。」(不検出)であり、定量下限値未満(<0.0005mg/L)となることである。調査結果が定量下限値未満の場合「不検出」と表記した。

年間平均値は定量下限値未満の場合は定量下限値として扱い、計算している。

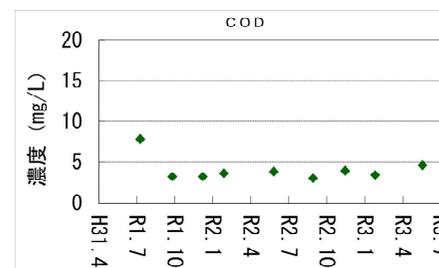
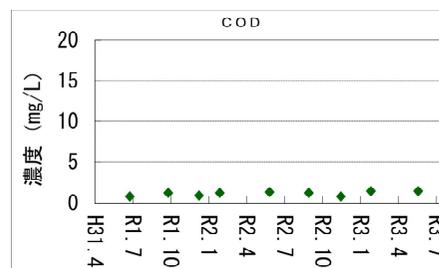
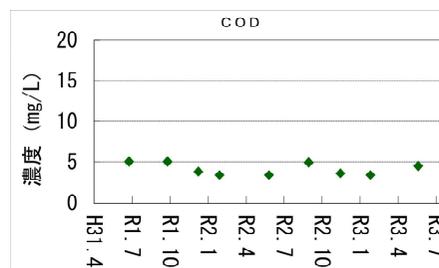
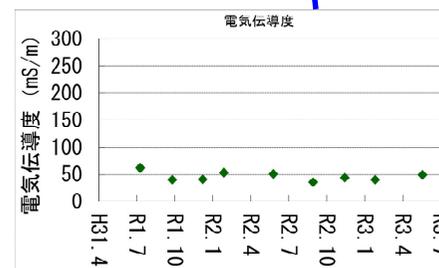
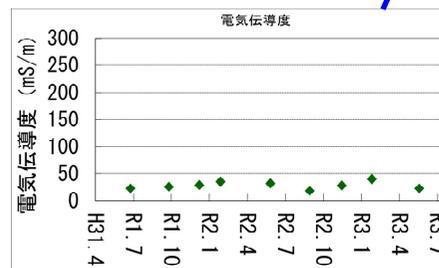
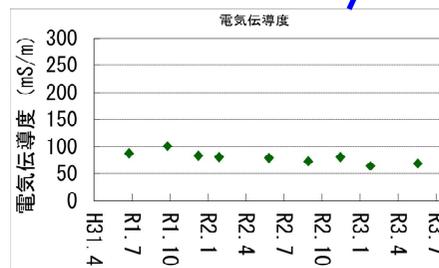
ただし、全ての調査で定量下限値未満の場合は年間平均値も同じ表記としている。

家庭系ごみの影響に関する調査について

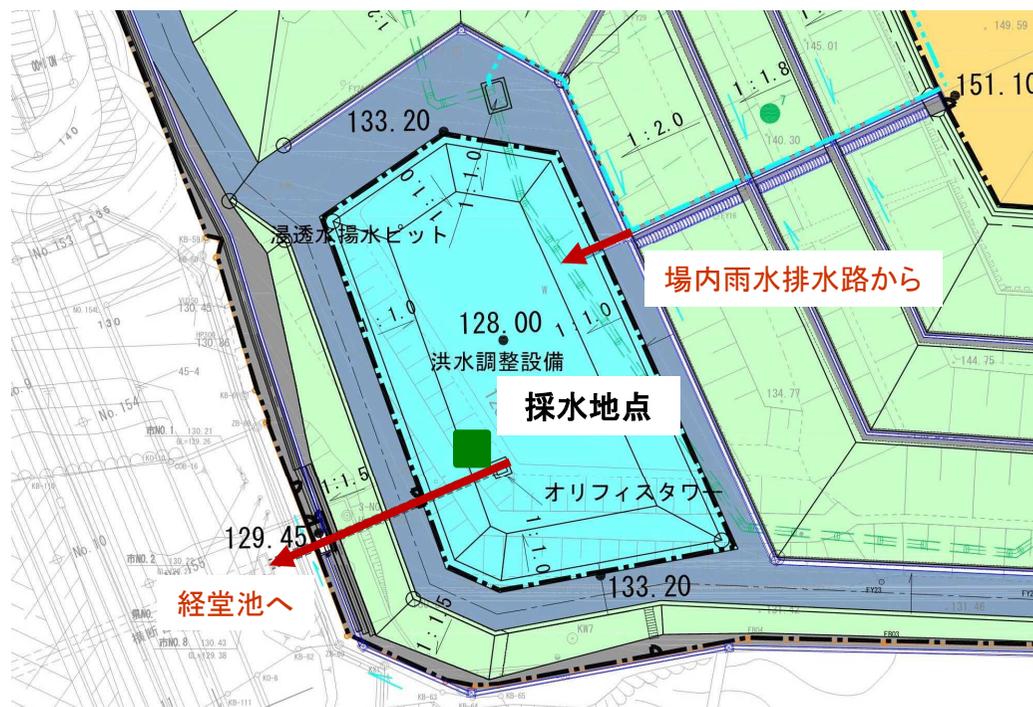
- 令和3年度第1回の調査を令和3年（2021年）5月24日に実施した。
- 環境基準超過なし。
- 令和元年度から調査を継続しており、通算9回目の調査であり、9回とも環境基準超過なし。
- 結果の評価について、資料2-3を参照。



※(再掲)C-7は、パージ作業を行い水質が安定してから採水を行っている途中に、くみ上げている水が一時的に周辺土粒子等で濁った水となり、それが試料に混入したと考えられる。そのため、通常の地下水の状態とは異なる試料であったおそれがあるため、分析結果は参考値として取り扱う。



洪水調整池の水質等

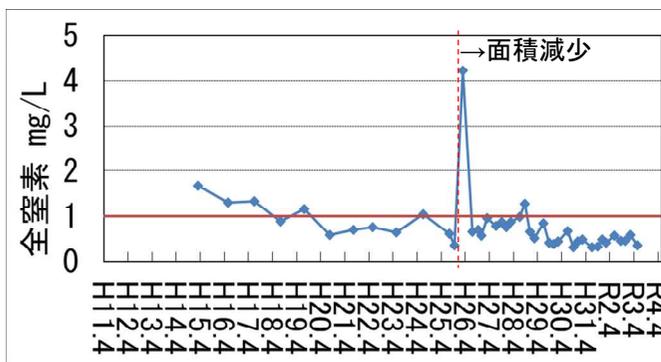
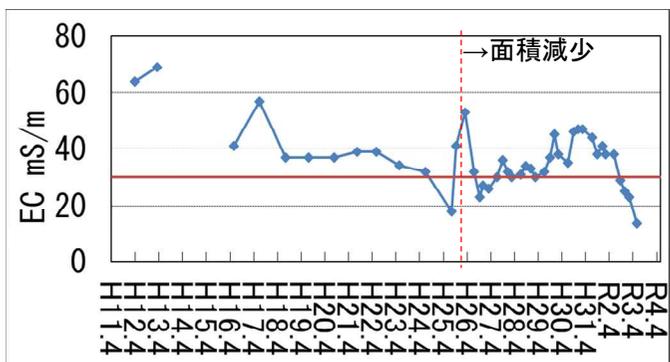
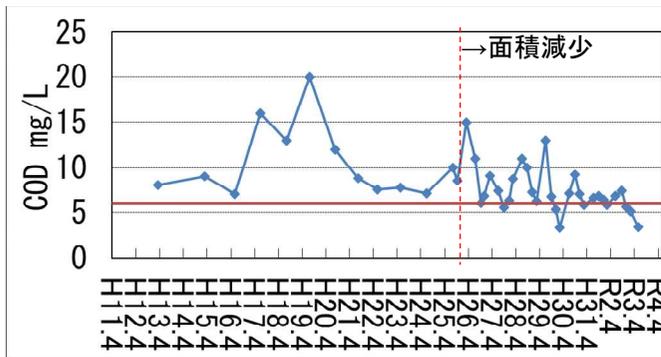
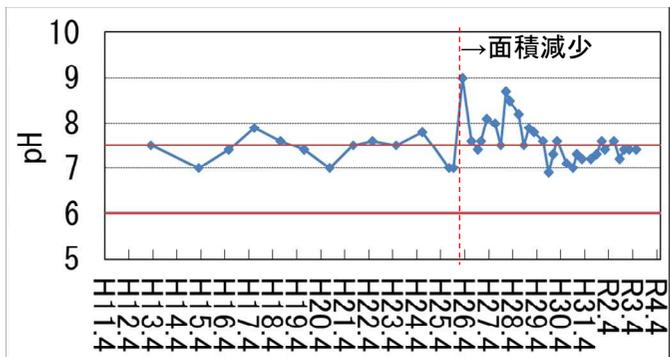


- 今年度から調査を開始。
- 有害物質について環境基準の超過はなし。
- pHについて環境基準をわずかに超過した。池内で雨水が滞留した際に、植物プランクトンが増殖した影響によると思われる。経堂池では基準以下なので、大きな影響はないと考えられるが、今後も変動状況を確認する。

項目	単位	R3.5.24 (2021)	環境基準
pH	at20°C	8.8	6.0~8.5
BOD	mg/L	0.6	8
COD	mg/L	7.5	※ (6)
SS	mg/L	2.2	100
EC	mS/m	15	※ (30)
カドミウム	mg/L	<0.0003	0.003
砒素	mg/L	<0.005	0.01
ふっ素	mg/L	<0.08	0.8
ほう素	mg/L	<0.1	1
鉛	mg/L	<0.005	0.01
総水銀	mg/L	<0.0005	0.0005
PCB	mg/L	不検出	不検出
トリクロエチレン	mg/L	<0.001	0.01
テトラクロエチレン	mg/L	<0.0005	0.01
1,1-ジクロエチレン	mg/L	<0.002	0.1
1,2-ジクロエチレン	mg/L	<0.004	-
シス-1,2-ジクロエチレン	mg/L	<0.002	0.04
トランス-1,2-ジクロエチレン	mg/L	<0.002	-
ベンゼン	mg/L	<0.001	0.01
クロロエチレン	mg/L	<0.0002	-
1,4-ジメチル	mg/L	<0.005	0.05
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.16	1
鉄	mg/L	0.23	-
マンガン	mg/L	<0.01	-
溶解性鉄	mg/L	0.16	-
溶解性マンガン	mg/L	<0.01	-
全窒素	mg/L	0.32	※ (1)
全りん	mg/L	<0.05	-
塩化物イオン	mg/L	1.1	-
備考		採水前3日間ほとんど降水なし	

※環境基準にない項目については参考に農業用水基準を表示

経堂池の水質等



- 過去に農業用水基準(要望値)を超過した項目の経年変化は左のとおり。
- 前回および前々回に引き続き農業用水基準の超過はなかった。
- 次回は令和4年度第1回調査時に実施。

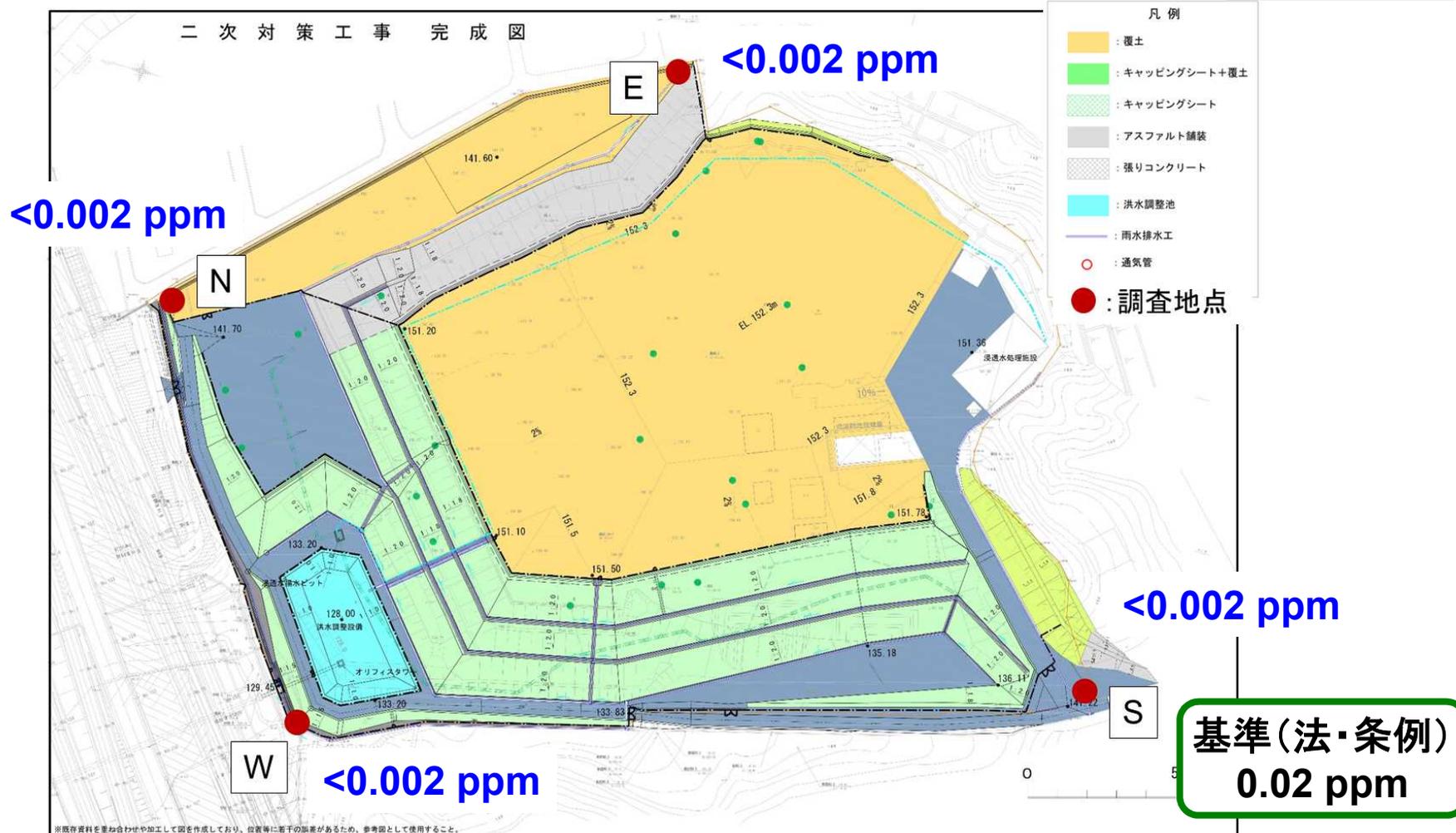
項目	単位	R3.5.26 (2021)	農業用水基準
pH (20°C)	20°C	7.4	6.0~7.5
BOD	mg/L	2.0	-
COD	mg/L	3.4	6
SS	mg/L	9.5	100
鉛	mg/L	<0.005	-
ほう素	mg/L	<0.1	-
ふっ素	mg/L	<0.08	-
砒素	mg/L	<0.005	0.05
1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.004	-
クロロホルム	mg/L	<0.0002	-
1,4-ジメチル	mg/L	<0.005	-
ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.21	-
電気伝導率	mS/m	14	30
全窒素	mg/L	0.35	1
アンモニア性窒素	mg/L	<0.05	-
硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.01	-
全りん	mg/L	<0.05	-
りん酸態りん	mg/L	<0.05	-
銅	mg/L	<0.01	0.02
亜鉛	mg/L	<0.01	0.5
全蒸発残留物	mg/L	130	-
塩化物イオン	mg/L	2.9	-
備考			

調査日	H11.11.17 (1999)	~	H24.6.29 (2012)	H25.8.8 (2013)	H25.10.18 (2013)	H25.12.5 (2013)	H26.2.25 (2014)	H26.7.17 (2014)	H26.10.17 (2014)	H26.12.5 (2014)	H27.3.2 (2015)	H27.7.10 (2015)	H27.10.5 (2015)	H27.12.17 (2015)	H28.2.18 (2016)	H28.7.5 (2016)	H28.9.21 (2016)	H28.12.7 (2016)
備考	栗東市調査			一面にヒシが繁茂		国道バイパス工事に伴う池の水抜きのため採水不可 (H25.10末頃より)	水位が未回復 (1.2m)。常時の半程度。工事により池の面積が減少	一面にヒシが繁茂	10/13に台風19号が通過	前日(12/4)に降雨多	藻類発生あり前日に降雨あり	梅雨により高水位ヒシは見られない	数日前の降雨により高水位	数日前の降雨により高水位	数日前の降雨により高水位	数日前の降雨により高水位	数日前からの降雨により高水位	一面にヒシが繁茂
調査日	H29.2.15 (2017)	H29.7.4 (2017)	H29.9.27 (2017)	H29.12.5 (2017)	H30.2.8 (2018)	H30.7.3 (2018)	H30.10.4 (2018)	H30.12.4 (2018)	H31.2.15 (2019)	R1.7.8 (2019)	R1.10.1 (2019)	R1.12.13 (2019)	R2.2.5 (2020)	R2.6.15 (2020)	R2.9.15 (2020)	R2.11.25 (2020)	R3.2.4 (2021)	
備考	数日前に降雨あり	一面にヒシが繁茂	一面にヒシが繁茂出口付近で採水		一面が凍結	一面にヒシが繁茂	一面にヒシが繁茂出口付近で採水			一面にヒシが繁茂	一面にヒシが繁茂出口付近で採水				一面にヒシが繁茂出口付近で採水			

農業用水基準(要望値): 水稻の生育に影響を与える項目について、用水の取入口における水準として、昭和45年に農林省の公害研究会が策定したもの。

敷地境界ガス調査結果

硫化水素



- 令和3年度第1回の調査を令和3年(2021年)5月26日に実施した。
- 全地点で不検出。

(参考)産廃特措法実施計画の目標達成状況の評価

・悪臭防止法および栗東市生活環境保全に関する条例に定める基準を満足していること。